

新規反応場としての微細気泡の工学的体系と活用法、微細気泡を利用した二酸化炭素の固定化、工場排水処理、土壌改良、医療器具・野菜・ペット洗浄などへの応用例の紹介を中心とした講演会・見学会・技術交流会を新たに企画しました。マイクロ・ナノバブル技術にご興味・ご関心のある研究者及び現場技術者は奮ってご参加下さい。

第2回「微細気泡の応用技術」講演会および見学会

<http://www2.scej.org/cre/schedule.htm>

- ・主 催：化学工学会反応工学部会「反応場の工学 分科会」
- ・協 賛：日本海水学会、技術士協同組合、NPO日本技術経営責任者協議会
習志野商工会議所、習志野市工業地域団体連合会
- ・日 時：2008年11月25日（火）13:30～18:00（受付13:00～）
- ・場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス 7号館4階7402教室
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1、TEL 047-478-0415（尾上研究室）
<交通> <http://www.it-chiba.ac.jp/index.html>
JR総武線「津田沼」駅から徒歩3分
- ・プログラム：
 - 1)講演会：「テーマ：微細気泡の環境保全技術への応用」
 - 13:30-13:40 開会挨拶と連絡事項
千葉工業大学工学部生命環境科学科 教授 尾上 薫
 - 13:40-14:30 マイクロバブル・ナノバブルの最新技術
慶應義塾大学 名誉教授 柘植 秀樹
 - 14:30-15:20 マイクロおよびナノバブルを利用した半導体工場の排水処理
シャープ（株）電子デバイス事業本部 技師長補 山寄 和幸
副主任 中篠 数美
 - 15:30-16:20 微細気泡法の有機物分解への適用における反応工学的アプローチ
—物質収支・酸素種活性種・複合効果—
千葉工業大学工学部生命環境科学科 教授 尾上 薫
千葉工業大学資源環境総合開発センター 研究員 松本 真和
 - 2)見学会 (16:20-17:00)
 - 3)技術交流会 (17:00-18:30)
- ・参加費：主催・協賛団体の個人正会員：2,000円、学生会員：1,000円、その他：4,000円、
技術交流会参加者は上記金額にプラス2,000円（学生はプラス1,000円）
（当日会場にて徴収致します。）
- ・申込み方法および申込み先：参加ご希望の方は、(1)参加者氏名、(2)所属と職位、
(3)所属する主催・協賛団体名もしくは非会員の場合はその旨、(4)交流会参加
希望の有無を明記の上、電子メールにて下記宛にお申し込み下さい。
（会場の関係上、先着60名様で受付を締め切ります。）
〒275-0016 習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学工学部生命環境科学科 尾上 薫
（連絡担当） 千葉工業大学資源環境総合開発センター 松本 真和
Tel: 047-478-0415, E-mail: masakazu.matsumoto@it-chiba.ac.jp